

スタイルアップを提案するサポートマガジン

特選外車総特集

CHARGE

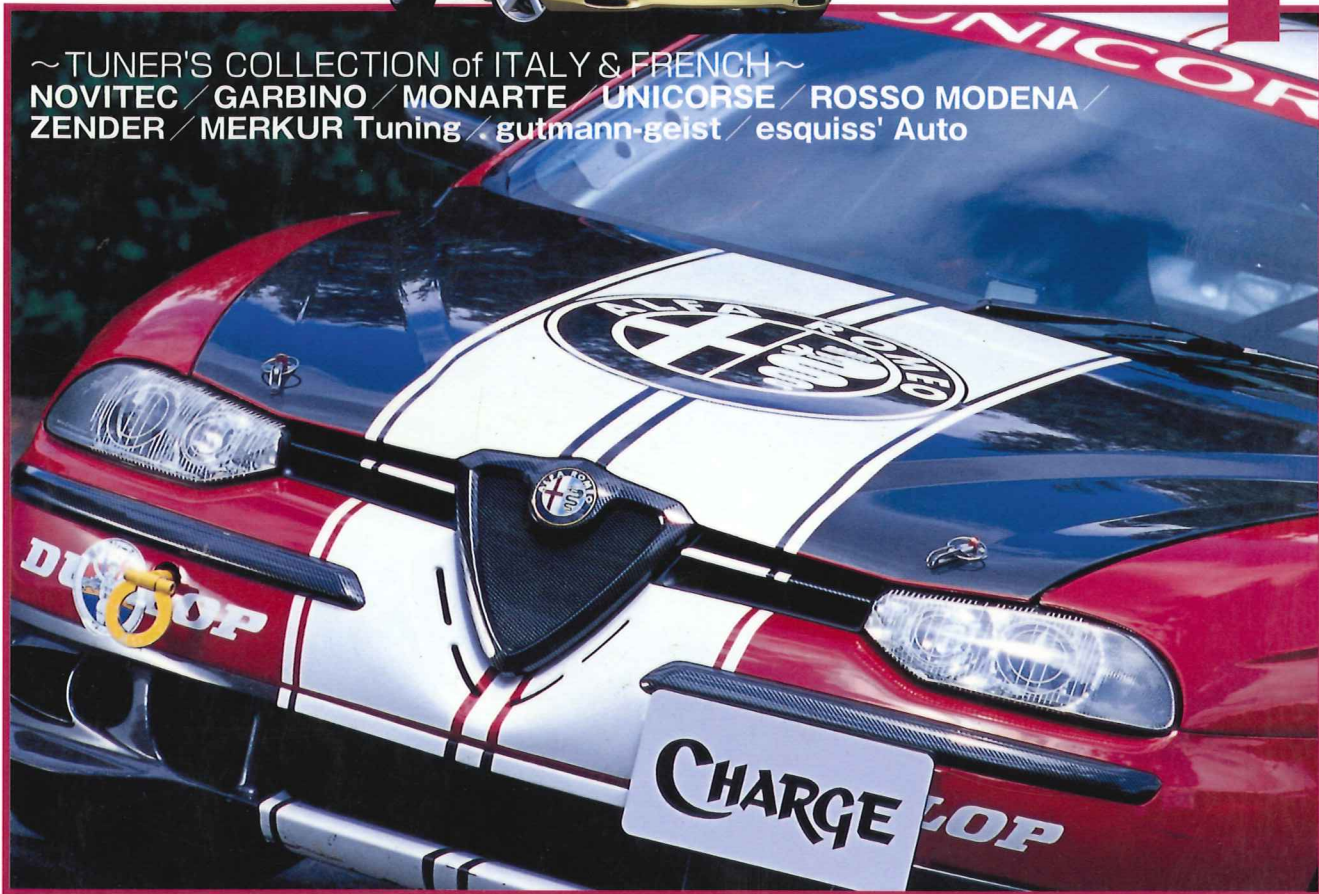
チャージ

特集1
元気で洒落なラテン車
モディファイ最新事情



NOV.2003
定価560YEN(税込)

11



~TUNER'S COLLECTION of ITALY & FRENCH~
NOVITEC / GARBINO / MONARTE / UNICORSE / ROSSO MODENA /
ZENDER / MERKUR Tuning / gutmann-geist / esquiss' Auto

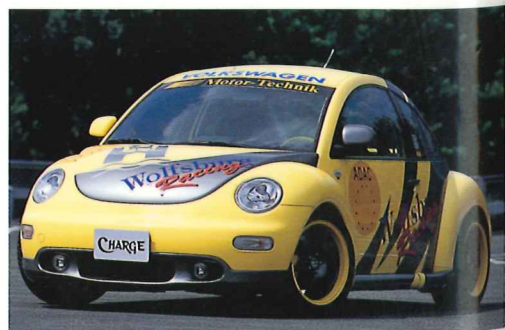
魅惑のラテン車に大注目! 流行のスタイルアップを徹底研究!

特集2: ヒストリーから楽しみ方まで徹底解説

VW ニュービートル完全マニュアル

- ヒストリーと現行ラインナップ ●新車&中古車のセールス状況
- 最新のモディファイ&カーライフ事情 ●魅惑のチューニング&ドレスアップカー
- 達人に聞くニュービートルとの付き合い方
- 多種多様なアフターパーツカタログ

■フランクフルト・モーターショー速報!
初公開の注目&最新モデル・レビュー



快感とも言えるエンジンフィーリングを持つアルファロメオ各モデルだが、そのNAエンジンにスーパーチャージャーによる過給器チューンを施すメーカーがある。ドイツを本拠とするノヴィテック社がそれ。ノヴィテックチューンを施した2台のアルファの実力に迫る。

撮影/花村英典 解説/山崎公義
取材協力&問い合わせ先/ノヴィテック・ジャパン ☎054-277-0753
<http://www.novitec.co.jp>

TUNER'S COLLECTION
of
ITALY & FRENCH



NOVITEC

ノヴィテック

スーパーチャージャーで武装したアルファ
ジャーマン・チューナーのホットな味付け



ALFAROME0156SC



ALFAROME0147SC



することは行なっていない。ユーザーに愛車を持ち込んでもらいノヴィテックジャパンによるセッティングを実施した上でユーザーの手元に返されることになっている。さて、この2台に早速試乗してみる。正直なところ過給器によるチューニングは、パワーはあれどもNAの官能フィールは失われていると思っていたし、それはつまりアルファらしさと言える部分ま

でも奪い去っているのではないかと考えていた。ところがどうもそうではない。どの回転域であつても全域滑らかであり、しかもラグはもちろんのこと過給器によるドレーピング感もまるでない。強いて言えばスタンダードの4500rpm前後を境とした「山」が体感として感じにくいことぐらいだが、これも全域に渡って滑らかに回る所以と言

える。あくまでもツインスパークを回しているというフィーリングを常に伴っているのだ。その上で例えば3000rpmまでのアクセルのツキの良さやリニアなトルク感、5000rpmオーバーからレブリミットまで回り切るレスポンスなど、これらは明らかにスタンダードとは異なるスーパーチャージャーによるパワーチューニングの恩恵だ。つまりはツインスパー

クユニットに魅せられているユーザーであっても、仮にモアパワー、モアトルクを望むのであれば、このスーパーチャージャーチューニングは大いにアリなのではないかと思う。それだけのフィールが充分に体感できるのだから。

また取付車のミッションは147が5速MT、156がセレスピドだったが、5速MTであればマッチングには何ら問題は無い。

機能性を重視しながらも スタイリッシュさを助長

なるほど10万kmに及ぶセッティングの結果は素晴らしく、タウン／郊外における試乗において気になるシーンはなかった。というよりもスタンダードでも状況によっては違和感のあるセレスピドのギアのつながりが、むしろ良いと感じるシーンもあったほどである。費用としては決して安くはないが、それだけの価値はあるはずだ。

●TUNING MENU フロントスポイラー／5万8000円 サイドパネルセット／6万円 ルーフスポイラー／3万8000円 リヤトランクスポイラー／4万8000円 エアロダイナミックキット (5点セット) /18万円 ハンドブレーキレバー／1万2000円 ドアロックノブセット／6000円 ペダルセット／1万2000円 (AT)、1万3000円 (MT) フットレスト／9000円 シフトレバーブーツカバー1万2500円 (左ハンドル) エキゾーストシステム／13万8000円 強化スタビライザー／5万3000円 (フロント)、5万円 (リヤ) 車高調整式スポーツサスペンションキット23万8000円 ストラットタワーバー／3万円 エアフィルター／1万2000円 スーパーチャージャーキット／78万円



NOVITEC

ALFAROMEO156SC



エンジンシステムは基本的に前頁の147と共通のチューニングが施される。エクステリアデザインは奇を衒ったところが無く、ジャーマンチューナーらしい堅実さが伺えるもので、147と異なりホイールは7.5J×17のノヴィテックType N6を装着していた